令和６年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	2452												
講習名	事例から学ぶ多機関連携－関係構築のコツ												
講習活用区分	○	自主研修	○	中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）									
実施日時	令和6年7月30日(火)　13:00～16:30											**振替対応**	無
募集人数	50人		**最少開講人数**	10人									
受講料	無料												
実施形態・会場	対面型												
	神戸キャンパス					**教　室**	兵教ホール						
対象校種		保育士		幼稚園教諭	○	小学校教諭							
	○	中学校教諭　教科指定：	無		○	高等学校教諭　教科指定：	無						
		特別支援学校教諭		養護教諭		栄養教諭	その他対象：						
対象職位	○	若手	○	中堅	○	ベテラン	○	学校管理職	○	トップリーダー			
担当講師	講師１　氏名：　小倉　拓郎　所属：　兵庫教育大学												
	講師２　氏名：　田村　裕彦　所属：　田谷の洞窟保存実行委員会												
	講師３　氏名：　山内　啓之　所属：　立命館大学アートリサーチセンター												
到達目標	講師の実践事例から多機関連携についてのコツを得て、自身の授業実践に活かせるスキルを身に着ける。												
講習目的・内容	総合的な学習の時間では、地域住民との双方向コミュニケーションや自然体験・観察実験などの体験的な学習経験が求められている。しかし、教師の多忙化や社会環境の変化に伴い、学校現場と地域が結びつく機会や意識が低下している傾向にある。そこで、本研究では講師の事例紹介（成功談・失敗談を含む）をもとに、どのように多機関連携を進めていくべきか、グループワークを通してそのコツを掴むことを目的とする。												

講習計画

【時間】			【内容】
13:00	～	13:10	オリエンテーション・アイスブレイク
13:10	～	14:00	多機関連携の悩み共有
14:00	～	14:30	多機関連携の事例①　地域・小大連携授業
14:30	～	15:00	多機関連携の事例②　オンラインで高大連携授業
15:00	～	16:20	ワークショップ・多機関連携をどう進めるべきか？
16:20	～	16:30	まとめ・アンケート
	～		
	～		

受講者の方へ	・受講にあたっては、大学からの通知（郵便・メール）をご確認ください。 ・事前課題（アンケート）にご協力いただきます。
そ の 他	・本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。